

協会の構成員

国立大学協会は、全国82国立大学法人、86大学と
4研究機構により構成されています。

知の 列島

●正会員(82国立大学法人、86大学)

北海道支部 (5法人、7大学)

北海道、北海道教育、室蘭工業、
北海道国立大学機構
(小樽商科、帯広畜産、北見工業)、
旭川医科

東北支部 (7法人、7大学)

弘前、岩手、東北、宮城教育、秋田、
山形、福島

東京支部 (12法人、12大学)

東京、東京医科歯科、東京外国語、東京学芸、
東京農工、東京藝術、東京工業、東京海洋、
お茶の水女子、電気通信、一橋、
政策研究大学院

関東・甲信越支部 (14法人、14大学)

茨城、筑波、筑波技術、宇都宮、群馬、埼玉、千葉、
横浜国立、総合研究大学院、新潟、
長岡技術科学、上越教育、山梨、信州

東海・北陸支部 (11法人、12大学)

富山、金沢、北陸先端科学技術大学院、
福井、静岡、浜松医科、
東海国立大学機構(岐阜、名古屋)、
愛知教育、名古屋工業、
豊橋技術科学、三重

中国・四国支部 (10法人、10大学)

鳥取、島根、岡山、広島、
山口、徳島、鳴門教育、
香川、愛媛、高知

近畿支部 (12法人、13大学)

滋賀、滋賀医科、京都、京都教育、
京都工芸繊維、大阪、大阪教育、
兵庫教育、神戸、
奈良国立大学機構
(奈良教育、奈良女子)、
奈良先端科学技術大学院、
和歌山

九州支部 (11法人、11大学)

福岡教育、九州、九州工業、
佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、
鹿児島、鹿屋体育、琉球

●特別会員(4研究機構)

人間文化研究機構、自然科学研究機構、
高エネルギー加速器研究機構、
情報・システム研究機構

交通のご案内



電車

- ◎東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄三田線/都営地下鉄新宿線
「神保町駅」下車 (A8出口から徒歩3分)
- ◎東京メトロ東西線
「竹橋駅」下車 (1B出口から徒歩4分)

車

- ◎首都高速道路
代官町
神田橋
一ツ橋 (5号線のみ)

インターチェンジをご利用下さい。



一般社団法人
国立大学協会
<https://www.janu.jp/>

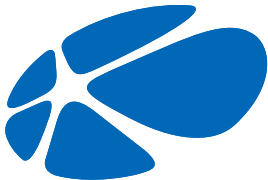
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号(学術総合センター4F)
TEL 03-4212-3506 FAX 03-4212-3509 E-Mail info@janu.jp

一般社団法人

国立大学協会

The Japan Association of National Universities

2023



一般社団法人
国立大学協会
The Japan Association of National Universities

会長あいさつ



一般社団法人 国立大学協会
会長 永田 恭介（筑波大学長）

国立大学協会は、それぞれが特色を有する82法人86国立大学の会員と、密接に連携している大学共同利用機関4機構の特別会員で成り立っており、創設以来、世界最高水準の教育・研究の実施や重要な学問分野の継承・発展、全国的な高等教育の機会均等の確保、グローバル人材の育成といった役割を担ってきました。約6万人の教員は、約58万人の学部生・大学院生の教育を担うとともに、多種多様な研究を展開しています。国立大学が総体として有する多様な学術知は、地球規模の課題解決とともに、高度にレジリエントで持続可能かつインクルーシブな社会を実現するための大きな力となります。そして、すべての都道府県に置かれている国立大学は、イノベーションの創出や優れた人材育成を通じて地域の中核としての役割を担っています。

こうした中で、研究力の底上げについて、政府においては10兆円規模の大学ファンド制度を創設するとともに、「地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ」が設けられました。この両制度について、国立大学協会としては、令和4年10月に文部科学省に提出した要望において、我が国全体の研究力及び国際競争力の向上・発展の意図を十分に反映した一体的な制度として構築するように求めたところであり、両制度によって研究力及び国際競争力を飛躍的に強化させるものとして認識しています。

昨今、国際情勢の不安定化や、収束の見えない物価高騰など、社会的に不透明で厳しい状況が続き、各国立大学も非常に厳しい経営状況にあるものの、国立大学は国を支える人材を輩出する日本の中核であるという自負を持って、これから先の我が国の成長と未来をけん引する大学であることが必要であると考えています。

教育未来創造会議の第二次提言でも謳われている国際競争力の向上とグローバル人材の必要性を認識し、今後令和10年度からの第5期に向けて、少子化で人口構成が変わる中においても、年齢・性別・国籍・地域などの多様性豊かな高度人材・グローバル人材の育成を進めるべく自ら改革し、国立大学ならではの覚悟を決めた骨太な将来像を提案していきたいと考えています。

国立大学協会として、関係各所と議論をしながら日本の高等教育の質を高め、リカレントやリスキリングを含め、より能力のある人材を輩出していきたいと思っています。皆様方のご期待に沿える大学を目指し、積極的な情報発信や自律的な取り組みを行うなど、一層努力してまいります。

組織図



役員等名簿

2023年6月12日現在

引き続き、ご支援を賜りますよう、お願いいたします。

事業内容

●国大協の目的(定款第4条)

各国立大学法人が実施する教育・研究及び社会貢献に関する多種・多様な活動において、質の高い成果を挙げるための環境作りを行い、もって国立大学法人の振興と我が国の高等教育・学術研究の水準の向上及び均衡ある発展に寄与する。

●国大協の事業(定款第5条)

- (1) 国立大学が質の高い教育、学術研究及び社会貢献を推進するために必要な事業
- (2) 自主的政策立案、国の高等教育政策や学術研究政策等に関する政策提言のための調査研究
- (3) 国際パートナーシップを基本とした国際交流事業
- (4) 国立大学法人の経営に関する支援
- (5) その他目的を達成するために必要な事業

主な活動(2022年度)

◎総会・理事会

- ・総会(6月、11月、1月、3月)
- ・理事会(4月、5月、7月、10月、12月、2月)

◎要望・提言活動等

- ・「地域中核・特色ある研究大学の強みやその特色を伸ばすための取組について(最終まとめ)ー我が国の大学の研究力及び国際競争力強化への7つの提言ー」の公表(10月)
- ・令和5年度予算における国立大学関係予算の充実及び税制改正等に関する要望(9月、10月)
- ・「デジタル・グリーン等の成長分野をけん引する大学の機能強化ー「成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金」による継続的支援の実施に向けてー」を要望(12月)
- ・「大学の研究力及び国際競争力強化のための知的インフラ再構築について～ジャーナル等の学術情報流通の保証～」の公表(2月)
- ・「大学の自律的化学物質管理ガイドライン」の公表(3月)

◎国際活動等

- ・日仏科学技術協力合同委員会へ出席及び、JACUIE、フランス・ユニヴェルシテ、CDEFIの間で「履修、学位及び単位の相互認証に関する協定」の調印式を挙(7月)
- ・第16回IAU総会へ出席(アイルランド・ダブリン)(10月)
- ・研究インテグリティに係る国立大学協会声明の公表(11月)
- ・日英交流事業UK-Japan Higher Education Forumを開催(12月)
- ・第24回日独科学技術協力合同委員会へ出席(2月)

◎セミナー・研修等

- ・国立大学法人等担当理事等連絡会議【国立大学の研究活動と安全保障】(6月)
- ・国立大学法人トップセミナー(8月)
- ・ユニバーシティ・デザイン・ワークショップ(9月)
- ・国立大学法人等担当理事等連絡会議【広報戦略】(10月)
- ・大学改革シンポジウム【カーボンニュートラルの実現に向けた大学の取り組み】(11月)
- ・大学マネジメントセミナー【これからのリカレント教育】(11月)
- ・国立大学法人等若手職員勉強会(12月)
- ・国立大学法人新任学長(就任予定者)セミナー(2月)

◎刊行物等・広報活動

- ・広報誌「国立大学」(6月、9月、12月、3月)
- ・広報誌「国立大学」別冊(6月)
- ・論説委員等との懇談会(10月)



第2回通常総会を開催



永岡文部科学大臣に
要望書を提出



日仏大学団体等間協定調印



広報誌等を刊行